

「次世代につなごう！！」

国際ロータリー第 2590 地区 2024-25 年度ガバナー 長戸 はるみ



ガバナー就任にあたり、会員の皆様にご挨拶を申し上げます。
ステファニー・アーチック RI 会長のテーマを踏まえたガバナーメッセージ「次世代につなごう！！」は、単に現在クラブの運営に携わっている世代から新会員に、何かを受け継いでもらいたいという意味ではありません。特に新会員の方は、クラブの奉仕活動や親睦活動での伝統をロータリー歴の長い会員の方達と話し合いながらロータリー活動をつないで欲しいとの願いを込めたものです。

さて、皆様ご承知の様に当地区の会員数は減少傾向にあり、新会員を迎えてもそれを上回る退会者が多数出てしまう厳しい状況が続いています。

十数年前は各企業の創業者が各クラブに多数いらしたと思いますが、世代交代により 2 代目 3 代目の方々に入れ替わりました。その方たちは親と同じクラブには入りづらいのか、子クラブや他クラブへの入会が多いように見受けられます。そこで親子やご夫婦での入会には年会費等を考慮しているクラブがあります。正会員になるまで色々な種類の準会員等のシステムをとり入れているクラブもあります。それぞれのクラブに合った増強に努めていきたいものです。

クラブ運営においては、長く同じ奉仕活動をしているものを、この辺りで一度見直しをされてはいかがでしょうか。その上で継続してきた事業をさらに展開させ、新しい事業に取り組む時期ではないでしょうか。ステファニー RI 会長の言われる継続と変化のバランスを取りながら、ロータリーのマジックを各クラブで起こすことができるようなプログラムや奉仕活動を考えて頂きたいと思います。もちろん会員の皆様が楽しんで参加することが一番です。

次世代を対象とした活動については更に、今年度、地区のローターアクト委員会を青少年奉仕委員会から切り離し単独の委員会としました。ローターアクトは RI 的には年齢制限も撤廃され、その位置づけも大きく変わりました。ロータリアンの会社に勤務していても中々入会に結びつかない、大学在学中でしか活動ができない、インターアクト卒業生がローターアクトになるのは少ない等々のローターアクトを取り巻く課題について、皆様と共に考える良い機会ではないでしょうか。ローターアクトクラブも積極的にロータリークラブに活動内容を発信して存在感をアピールしてほしいと思います。

ロータリー青少年交換プログラムについて、今年度はコロナ以前の活動に少し戻り、5 名の派遣と 4 名の受入が決まっております。昨年度はエクアドル一国との交換でしたが、受入学生のカルラさんは、今では日本語も上達して最後の学校生活を楽しんでいます。今年度も派遣学生は大きな希望と小さな不安を抱いてそれぞれの国に飛び立ち、入れ替わりに元気な受入学生が来て活躍してくれることでしょう。

ロータリー財団の奨学生 7 名もそれぞれの研究のために各国に出発準備中です。米国の平和センターで 2 年目の研究に入る当地区平和フェローも当地区がホストする ICU の平和フェローも併せて、それぞれの場所でロータリーのマジックを探してほしいものです。

では、公式訪問で皆様とお目にかかり直接お話しを伺えることを楽しみにしております。一年間ご協力のほど、よろしく願い申し上げます。